※令和４年度以降入学生用

学校番号	3021

令和８年度　芸術科［音楽］

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の音楽１　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌う」「演奏する」「音楽を創る」「音楽を聴く」これら４つの分野について，年間を通して学習します。
・学習の到達度はワークシート，実技テスト，確認課題（小テスト），レポートで評価します。
・生涯にわたり，楽しく音楽活動ができるための基礎能力を身につける取り組みを多く行います。
・音楽を通して感動を求め，感性を深め，共感しながら，人間として豊かに成長してほしいと願います。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好し，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現	歌唱 教科書掲載のポピュラーソングや校歌など 花は咲く 少年時代　他 器楽 リズム課題 楽器演奏体験 創作 五線譜 拍と拍子 音符の種類と長さ	a:曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聞くことができている。 c:主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好し，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けている。	演奏聴取 提出課題 実技ﾃｽﾄ 確認課題 （小ﾃｽﾄ）	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ
	鑑賞	ミュージカル サウンド・オブ・ミュージック 音楽史 古代～バロック時代の音楽				
2学期	表現	歌唱 日本の唱歌 浜辺の歌 夏の思い出　他 器楽 キーボードやギターを用い た弾き歌い リコーダーによるアンサンブ ル 創作 音階と和音 コードネーム	a:曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聞くことができている。 c:主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好し，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けている。	演奏聴取 提出課題 実技ﾃｽﾄ 確認課題 （小ﾃｽﾄ）	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ
	鑑賞	ベートーヴェン 交響曲第５番「運命」 ミュージカル ウェストサイド・ストーリー 音楽史 古典派～ロマン派の音楽				

※令和４年度以降入学生用

３学期	表現	歌唱 　世界の歌 　　カーロ・ミオ・ベン 　　喜びの歌 創作 　メロディの創作	a:曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聞くことができている。 c:主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好し，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身に付けている。	演奏聴取 提出課題 実技ﾃｽﾄ 確認課題 （小ﾃｽﾄ）	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ
	鑑賞	オペラの世界				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度